

LEADER

NETWORK

2010～2011年度 第2号



Lions Clubs International

運 = チャンス + 準備

これは魔法の公式でもなんでもありません。ひたむきな努力がもたらすものです。時間と労力を注ぎ込んで綿密な準備をすれば、必ずその甲斐はあるはず。ライオンズ指導者である私たちには、手に入る資料や情報源を活用して学び、観察しながら、研究と実践を重ねて能力を最大限発揮できる指導者とならなければならないという責任があります。そして、他の会員の意欲を喚起し、彼らも同様に十分な準備ができるようにしなければなりません。

2010～2011年度副地区ガバナー／地区ガバナーエレクト研修プログラムの計画が着々と進んでいます。これは、複合地区および単一地区の指導力育成委員長またはグローバル指導力育成チーム (GLT) によって進められる地域別研修、グループリーダーの指導に基づき行う自習、そして米国ワシントン州シアトルにおける2011年DGEセミナー (2011年7月1日～4日開催) の、3つの準備段階から成るプログラムです。計画はすべて、ウィンクン・タム副会長および2011年DGEセミナー委員長のジャック・ハバナナダ元国際会長の指揮の下に行われています。

研修プログラムの開発を始めるに先立って、セミナーの形式と内容が徹底的に分析・検討されました。2011年DGEセミナーを含む、2010～2011年度の研修プログラムの目的は、次期ガバナーが成功するために必要な実用的情報を提供することであると同時に、自信と誇りを持たせ、DGEセミナーが心に残る国際色豊かな楽しい経験となるようにすることです。

本プログラムの最初の要素である地域別研修に関する情報およびカリキュラム資料は、10月末にすべての複合地区／単一地区指導力育成委員長および (または) 協議会議長に送付済みです。自習同様、この研修は今年度はこれまでも増して重要です。各DGEは十分考えた上ですべての事前課題を完了することが不可欠です。その理由は、実際に役立つこれらのトピックがシアトルでのDGEセミナーでは取り上げられないからです。

運は、準備とチャンスがぴったりと合った時にもたらされることを忘れないでください。誰もが次期ガバナーの幸運を祈っていることは言うまでもありません。指導力育成はまたとないチャンスです。これから数カ月の時間と入手可能な情報や資料を利用して、最大限の成功を収められるよう地区ガバナーエレクトの準備が十分整っているようにしてください。

あなたは指導力育成を支援していますか？

研究の結果、指導力育成研修を提供する業界や企業は、新しいリーダーの育成に力を入れないところよりも優れた実績を収めることが分かっています。幸いなことにライオンズクラブ国際協会には、指導技能を磨くことに関心のあるライオンなら誰でも利用できる資料やプログラムが揃えられています。課題は、将来のリーダーを特定し、確実に彼らにこうした資料等を使ってみる機会が与えられるようにすることです。

では私たちの将来のリーダーは誰なのでしょう？

それはもしかして、地域社会や奉仕事業をリードすることへの熱意を見せる入会して間もない会員かもしれません。あるいは、何であろうと頼まれた役割をきちんと果たし、注目されることなくこつこつと長年クラブの価値を高めてきたライオンなのかもしれません。私たちの将来のリーダーはこうしたところから生まれるといった共通のものがあるわけではありません。だからこそ、「立派なライオンになろう」とする努力と意欲を見せているクラブの会員がいれば、利用できる機会について彼らが知っているよう計らう努力を今のリーダーは怠ってはいけません。

その出発点としてふさわしいのは、改訂版ライオンズ・メンター・プログラムです。経験豊富なライオンをメンターとしてその指導を受けるライオンは、基礎レベルでは、ライオンであることへの責任についてとクラブ内で結びつきを築くことについて学びます。そして上級レベルでは結果を出し、得た知識や経験を適用することに重点的に取り組みます。あなたのクラブでは、ライオンズ・メンター・プログラムを積極的に奨励し、支援していますか？

手始めとしてのもう一つの方法は、リーダーシップ情報センターにあるオンラインのライオンズ学習センターです。このセンターを利用してライオンは、指導力に関するさまざまなトピックやスキルについて、都合のよい時に自分のペースで勉強することができます。あなたのクラブではどの会員もライオンズクラブ国際協会ウェブサイトへのアクセスの仕方を知っており、リーダーシップ情報センターにある資料や情報を活用していますか？

クラブの会員は、上位ライオンズ・リーダーシップ研究会や講師育成研究会など、国際協会後援の研究会のほか、地方研究会やエリア・フォーラムについても知っていますか？ これらは他のライオンと出会い、アイデアを共有するのに絶好の場です。とはいえ、ライオンがこういったイベントやその参加方法について知っている場合にのみ役立つものです。

今はまだメンターを務めたり、あるいは研究会での研修進行を担ったりする立場にないといった方もいるでしょう。その場合でも、ライオンズの指導者となることに関心を示す会員があらゆる機会について知っているよう、確認することはできるのです。

あなたも指導力育成について情報を広めることに一役買ってくださいますか？

GLT…耳にしたことがありますか？



グローバル会員増強チーム (GMT) のコンセプトが実行に移されたのは2008年7月で、すでに会員増強、新クラブ結成、会員維持においてプラスの影響を及ぼしています。GMTは現地のニーズを分析することで、会員増強に向けた具体的な取り組みと解決策を適用することが可能となっています。

GMTの成功を基に、そして協会の発展の可能性は指導者がどれだけその力を発揮し私たちを前進させるかにかかっているとの信念の下に、国際理事会は、同様の構造を設けて現在と将来の指導者の発掘および育成に重点的に取り組むことを承認しました。それから調査と分析を重ねた結果、グローバル指導力育成チーム (GLT) が誕生。2010～2011年度より、GLTとGMTの2種のチームが複合地区、単一地区、準地区の各レベルで存在することになります。

GLTの目的は以下にあります。

- より優れた指導者の発掘および育成をクラブレベルから始め、上のレベルへと引き上げるためのシステムとそれに専念するチームを設ける
- 地域の必要性に即ち適するよう、国際協会の指導力育成研修を調整できるようにする
- 国際協会が設けている数多くの指導力育成研修等のプログラムを宣伝し、その活用を広げる

GLT会則地域リーダーとエリアリーダーは、第一および第二国際副会長の協力を得て国際会長が既に選任しました。

次のステップは、ガバナー協議会による複合地区GLTコーディネーターの選任と、第一および第二副地区ガバナー、さらには複合地区GLTコーディネーターとの協議の下、地区ガバナーによる地区GLTコーディネーターの任命です。特別任命フォームと手順の説明文が2011年2月初旬に各複合地区、単一地区、準地区に送付される予定です。

GLTのさまざまなレベル内での頻繁なコミュニケーションが、国際協会には数多くの指導力育成研修資料が用意されていることを知らせ、それらが使用されること、そして各地域のニーズが満たされていくことを保証してくれるでしょう。さらに、GMT・GLT間のコミュニケーションは、本協会が直面する課題に取り組むだけでなくチャンスも活かすための統合されたアプローチを促すはずで。

GLT、GMT、そして地区ガバナーチームの努力を統合することにより、私たちはより上手く地域の成長と開発のニーズを満たし、会員増強を図り、クラブの健康状態を向上させ、指導者の資質を高め、究極的にはさらに効果的に地域の課題に立ち向かうことができるようになります。

国際協会ウェビナー登場

どこかに出かけたり、仕事を休んだりすることなく物事を学びたいと思いませんか？周辺の国々、あるいは世界各地のライオンの経験談を聞くことに関心がありますか？国際協会のウェビナーこそ、そんなあなたのための答えかもしれません。

リーダーシップ部では、ウェブサイトを通じて協会内における統率力を向上させる機会をあなたに提供するため、ウェビナーを開発しました。ウェビナーはウェブサイト上の研修であり、その環境の中で知識豊富な講師がトピックを提供し、受講者が、あたかも向かい合って研修を受けているのように積極的に参加するというものです。ウェビナーの主な魅力は、コンピューター、インターネットの接続、電話もしくはコンピューター用のマイク付きヘッドホン、そしてスピーカーさえあれば、ほとんどどこからでもアクセス可能であることです。ウェビナーの参加者は、プレゼンテーションを見ながら講師の話に耳を傾けることができるだけでなく、さまざまなツールを使って自らの経験談を他の参加者と共有したり、ディスカッションに参加したり、質問をすることもできます。

ウェビナーは現在のところ、英語でのみ行われています。ウェビナーに参加する際何を期待すべきかについての詳細は、よくある質問の答えが掲載された資料または、ウェビナーに参加するにはどうすればよいかを教えてくれる短いビデオをご覧ください。両方とも指導力育成/ウェビナーでアクセス可能です。

9月と10月に、「クラブ例会の運営」および「リーダーの育成とメンタリング」のトピックによるウェビナー（つまりウェブサイト上の研修）が英語で行われました。ウェビナーは、ライオンの多忙なスケジュールを考慮に入れて、平日の夕方と土曜日（米国中西部標準時間）に予定が組まれています。

1月から3月にかけてのウェビナーは「ゾーン・チェアパーソンの役割」、「奉仕事業の運営」、「目標設定」のトピックで行われます。ウェブサイトを通じてライオンズクラブの研修に臨む準備を整えたあなたに今後のウェビナーでお会いできるのを楽しみにしています！



各種研究会？間近に迫った締切日に間に合うよう、急いで申し込みを

講師育成研究会に参加し、皆さんの地域のライオンズに質の高い研修を提供できるようご協力ください！

講師育成研究会は、4日間の活気あふれる集中的なプログラムです。この研究会で取り上げるスキルと概念は、提供される研修の質を高め、究極的には国際協会のリーダーシップ育成プログラムの効果そのものを左右することになるでしょう。申込者は、リーダーシップ育成に対する強い関心と何らかの経験を持っている必要があります。参加に関心のある皆さんは、リーダーシップ情報センターのリーダーシップ育成のセクションを確認するか、institutes@lionsclubs.orgに連絡すれば申込書入手できます。

2010～2011年度講師育成研究会						
会則地域 VII - オーストラリア、ニュージーランド、パプアニューギニア、インドネシア、南太平洋諸島	会則地域 VI - インド、南アジア、アフリカ、中東	会則地域 IV - ヨーロッパ	会則地域 IおよびII - 米国、その領域、バミューダ、バハマ諸島、およびカナダ	会則地域 V - 東洋 東南アジア	会則地域 VI - インド、南アジア、アフリカ、中東	会則地域 III - 南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島
2011年1月 14～17日 インドネシア、バリ島クタ	2011年2月 7～10日 **ザンビア、ルサカ	2011年2月 11～14日 トルコ、イスタンブール	2011年2月 25～28日 米国イリノイ州 オークブルック	2011年3月 11～14日 日本、札幌	2011年4月 8～11日 *インド、ウッタールプラデシュ州 アグラ	2011年4月 15～18日 エクアドル、キト

*インド、南アジア、中東のライオンズのみ
**アフリカ大陸のライオンズのみ



ヒントとツール

リーダーシップ情報センターの**ヒントとツール**のページには、ライオンズの歴史についての概要、道徳綱領、目的など、会員のオリエンテーションに利用できる基本的な情報から、地区ガバナー旅費および事務経費の請求方法についてのビデオまで、役に立つ多種多様な研修ツールが含まれています。このページで、これまでに発行された「リーダー・ネットワーク・ニュースレター」を読むこともできます。

「6つの帽子」は、シンプルでありながらも人の考え方を変える強力なツールであり、ディスカッションの対象となる構想を定め、6次元の異なる考え方をもって、刷新的なアイデアや創造性に富んだ変革を促すものです。六つの異なる思考スタイルまたは方法が一つずつ、グループのメンバー一人ひとりに割り当てられます。これにより、グループのメンバーは普段とは異なる方法で考えることを余儀なくされ、その結果、グループは新しいアイデア、問題の新たな解決策、あるいは課題に取り組むための新たな方法を考え出します。資料に説明されている、ライオンズが置かれた二つの状況にこのツールをまず用いてみてから、このテクニックをご自身が決断を行う際や課題に取り組む際に使ってはどうでしょう！

研修ツール？ガニエの9つの教授事象

ロバート M. ガニエ博士によると、効果的な指導や研修に必要な事象が9つあります。こうした事象は以下の順に起こる必要があります。講習会を計画する際、これを参考にして、9つすべての事象を組み入れたことを確認するとよいでしょう。最初の3つの事象は講習会始めの導入において、次の4つは研修内容の提示において、そして最後の2つは講習会のまとめにおいて組み入れるものです。

- 1. 受講者の注意を集める**
研修課題に関連する目新しいものや意外なことについての話で始め、質問をしたり、マルチメディアを使ってプレゼンテーションをしたり、問題を提起する。受講者が準備を整え、学習意欲を起こしているようにすることが重要。
- 2. 講習の目標を知らせる**
講習会終了時に受講者は何ができるようになっているかを説明する。研修内容の目的を、状況上の前後関係を踏まえて受講者にわかりやすく説明する。受講者が期待すべきことを整理できるよう、研修内容の順序について概要を説明する。
- 3. 前に学んだことを思い起こさせる**
いままでに学んだ関連事項を簡単に見直す。
- 4. 研修内容を提示する**
講義の際にさまざまな方法を用い、研修内容の情報をさらに細かな単元に分けることで、受講者の負担にならないようにする。
- 5. 学習における指針を示す**
例えば使われている言葉の定義、記憶を助けるものやヒント、職業上役立つものなどを示し、受講者が学習を続け、研修後学んだことを思い出して学習目標を達成できるようにする。
- 6. 練習の機会を作り出す**
対話式の学習活動、ロールプレイ、実例などを用いるか、多項選択式の質問を使って、受講者が新たな知識とスキルを適用できるよう手助けをする。
- 7. 参考になるフィードバックを受講者に与える**
受講者の回答が正しいことを示したり、受講者の態度や行動を分析したりして、場合によっては有効な（段階を追った）解決策を提示する。
- 8. 学習の成果を評価する**
研修内容が習得されたかどうかを評価し、練習の後、どう進歩したかについてフィードバックを提供する。学習の目標を再確認する。
- 9. 習得内容が保持されるようにする**
学んだことは、練習を重ねることによってどのように応用が利くかを示すか、もしくは研修内容を復習するよう受講者に求める。これにより、教えたことの内容が長期間受講者の記憶に残るようにすることができる。

今度講習会の計画を立てる際には、「ガニエの9つの教授事象」をすべて盛り込んでいることを確認してください。そうすることにより、講習会を受講者にとって一層効果的で記憶に残るものにすることができ、習得内容の保持率も高まります。

ちょっとしたアイデア

地方ライオンズ・リーダーシップ研究会は終了しました。研究会開催中、参加者はいろいろなアイデアを交換し、さまざまなことを学び、友情を築きます。そこで研究会を終えた後、クラスの仲間と改めて連絡を取り合い、経験やアイデアを交換できたら素晴らしいと思いませんか？まさにそれを行っている複合地区がいくつかあります。複合地区からの報告によると、地方ライオンズ・リーダーシップ研究会同窓会が複合地区大会で開かれています。同窓会は、研究会卒業者にとって成功例を分かち合い意見を交換するだけでなく、旧交を温める場でもあります。同窓会は誰もが参加できる催しで、研究会に参加したことのないライオンにやる気を起こさせる動機付けの役目を果たします。あなたの複合地区でも次回の大会で地方ライオンズ・リーダーシップ研究会同窓会を開催してみてもどうでしょう？同窓会が、次回の地方研究会への参加意欲をライオンに起こさせるのにまさに必要な火付け役となるかもしれません。

お便りをお待ちしています！

LEADER NETWORKの目的は、複合および単一地区の指導力育成委員長とGLTチームにリーダーシップ育成に役立つ情報とアイデアを提供することにあります。もし、「ちょっとしたアイデア」、本紙へのご提案、または次号（2011年2月）への掲載を希望されるトピックがありましたら、ぜひお聞かせください。宛先は leadership@lionsclubs.org です。



「成功への鍵は
何よりもまず準備にある」

アレクサンダー・グラハム・ベル